

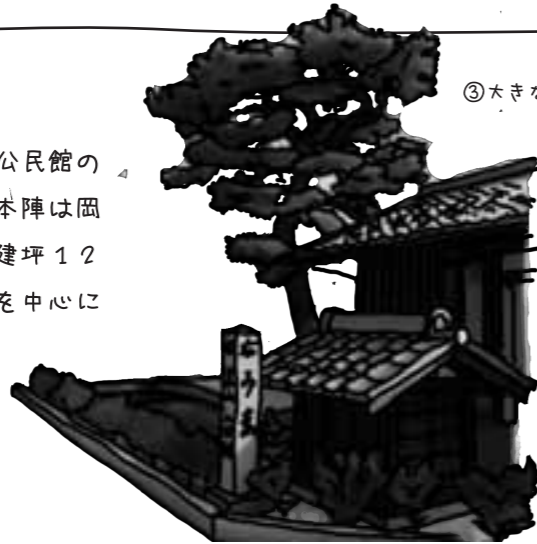
# 街道の一大珍事、駱駝も逗留した物流の拠点 伏見宿 ゆったり伏見宿あるき

伏見宿は江戸からちょうど50番目の宿場になります。この宿は木曾川の水運と深く関わっており、木曾川の流れの変化で渡し場の位置が上流に移動したことから、元禄7年(1694)に、それまでの土田宿が廃止され、代わりに宿場となりました。伏見宿と言えば、駱駝が逗留したことで知られていますが、じっくり見て歩くと物流の拠点として栄えた宿場としての歴史をかいま見ることができます。(距離約2.2km)※ボランティアガイドが同行することもできます。



## ①本陣跡

今は、当時の雰囲気を残すものは何もなく、公民館の前に「本陣跡」の碑が立っているのみです。本陣は岡田与治右衛門が務め、門構えと玄関がある建坪120坪の屋敷だったと言われています。宿場を中心に伏見宿のあったあたりが高台になっているのがよくわかります。



③大きな松の木が目印

## ②山田横穴古墳

中山道から北に目をやると遠くにこんもりとした古墳を眺めることができます。横穴墓とは、人工的に盛り土をした一般的な古墳とは異なり、山腹に深く穴を掘って墓室としたもので、岐阜県内では旧可児郡と旧土岐郡にみられます。元来は7基あったようですが、風化が進んでいます。



②山の地形を利用した横穴古墳

## ③一本松公園

中山道伏見宿のほぼ中心に位置するミニ公園で、平成20年に開園しました。

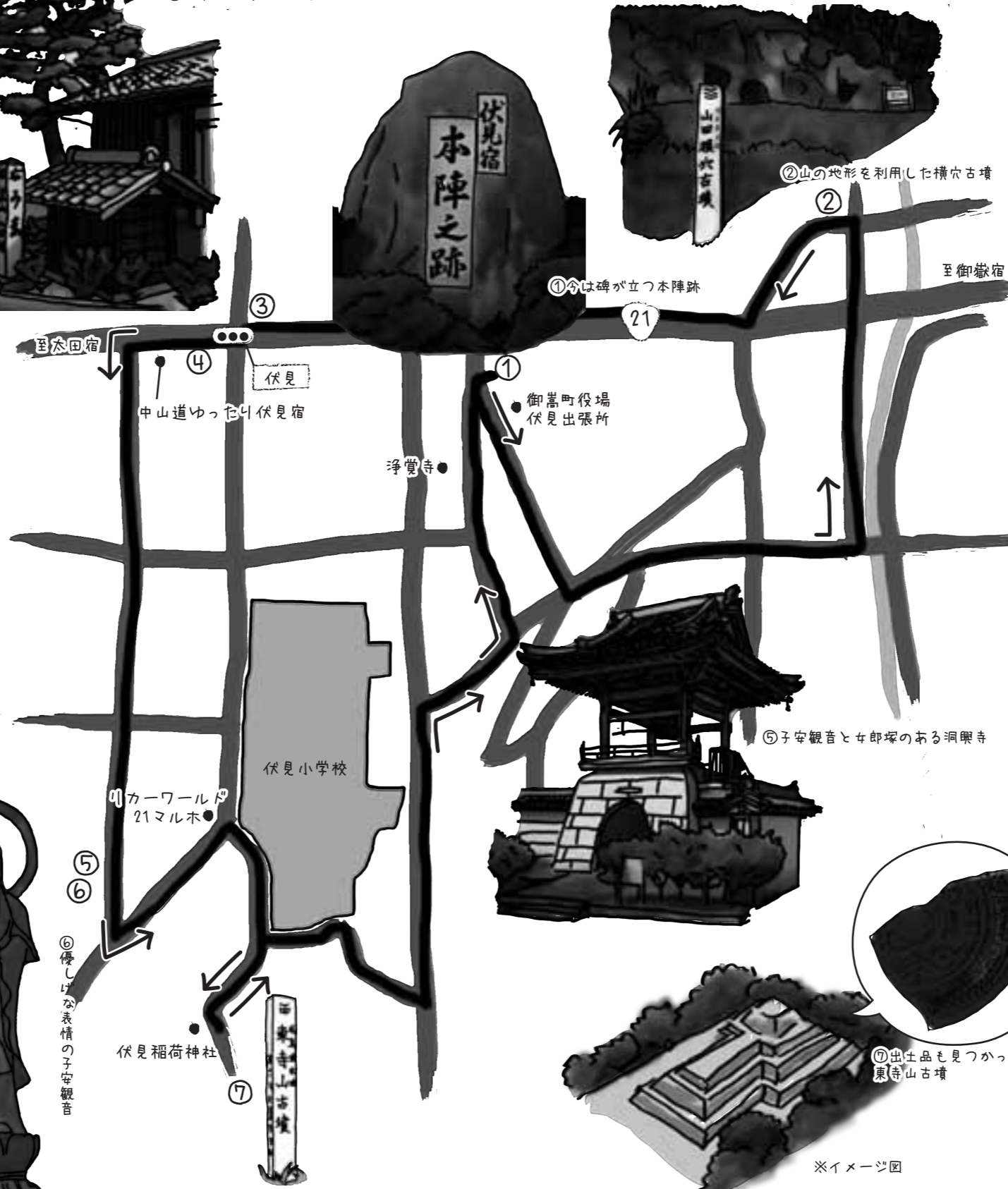
樹齢200年以上の松の木を中心に、伏見宿の面影を醸し出すように建物を配置しています。

「あずまや」と「トイレ」が設置されており、宿場周辺散歩の休憩にもってこいです。ここから少し先の木曾川沿いには、かつて新村港があり、東濃一円の年貢米が集められて尾張堀川の米蔵へと運ばれていたようです。



## ④中山道ゆったり伏見宿

伏見宿の再生と地域活性化を目的に立ち上げられました。ミニ観光案内・地域コミュニティの場として月火金土の週4日午前10時半から午後2時半まで開所しています。中には伏見宿の古い町並み地図や、ここを通った駱駝のイラスト資料などがあり、ふらりと立ち寄ると地元の皆さんが快く迎えてくれる、まさに中山道歩きのアアシエです。



## ⑤洞興寺

臨済宗妙心寺派のお寺で、境内には樹齢180年のサザンカがあり町の銘木に指定されています。花の少ない冬、12月になると満開の花が見事です。

## ⑥子安観音と女郎塚

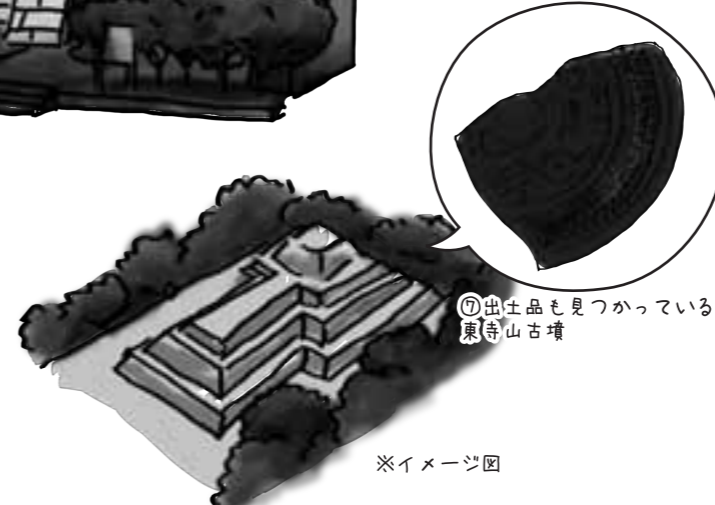
秘仏の子安観音は、昔から7年ごとに御開張され、奉納行事として置物舞台い趣向を凝らし、町内ごとに一場面づつ小屋をつくって競いあったと言われています。操り人形芝居や出店が境内から沿道に向かって軒を連ね、大変な賑わいであったようです。観音堂の横には女郎塚があります。宿場で働く飯盛女たちが若衆とともに土のモッコを担ぎ、心をこめてつくったこの女郎塚は日本で唯一のものと言われています。



⑥旅人達が道中安全を祈願したと言われる女郎塚

## ⑦東寺山古墳

木曾川と可児川に挟まれた台地の南端に、東西に並んで2基の大形の古墳があります。東側の1基は前方後円墳で前方部が削り取られており、その規模については明らかではありませんが、残存する後円部の直径26m、高さ3.5mです。西側の1基は前方後方墳で、全長58m、後方部の1辺の長さ32m、高さ4.5m。前方部の幅は16m、高さ2.1mあります。



⑦出土品も見つかった東寺山古墳



歩き旅

企画: 中山道案内人歴史会  
制作: 中山道ぎふ17宿歩き旅事務局  
(日本イベント企画株式会社内)

※イメージ図